

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公開番号】特開 2007-279270 (P2007-279270A)

【公開日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【年通号数】公開・登録公報 2007-041

【出願番号】特願 2006-103894 (P2006-103894)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/00 (2006.01)

G 0 3 B 9/36 (2006.01)

G 0 3 B 9/66 (2006.01)

G 0 3 B 19/12 (2006.01)

G 0 3 B 17/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/00 W

G 0 3 B 9/36 C

G 0 3 B 9/66

G 0 3 B 19/12

G 0 3 B 17/14

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 3 日 (2009.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ミラーを動作させるミラー機構と、

シャッタをチャージするチャージ機構と、

モータと、

前記モータからの駆動力を受けて回転し、前記ミラー機構を駆動する第 1 の回転部材と

、

前記モータからの駆動力を受けて回転し、前記チャージ機構を駆動する第 2 の回転部材と、

前記モータの回転方向に応じて第 1 の状態と第 2 の状態に切り換わり、前記第 1 の状態で前記モータの駆動力を前記第 1 および第 2 の回転部材に伝達し、前記第 2 の状態で前記モータの駆動力を前記第 1 の回転部材には伝達せずに前記第 2 の回転部材に伝達する切換機構とを有することを特徴とするカメラ。

【請求項 2】

前記切換機構は、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態とで、前記第 2 の回転部材を同一方向に回転させることを特徴とする請求項 1 に記載のカメラ。

【請求項 3】

前記第 1 の回転部材と前記第 2 の回転部材は、同一軸回りで回転することを特徴とする

請求項 1 又は 2 に記載のカメラ。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 の回転部材はそれぞれ、前記ミラー機構および前記チャージ機構を駆動するカムを有することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載のカメラ。

【請求項 5】

前記切換機構が前記第 1 の状態にあるときは、前記ミラーは光路内に配置される第 1 の位置と前記光路外に配置される第 2 の位置との間で動作するとともに、前記チャージ機構はチャージ状態とチャージ解除状態との間で動作し、

前記切換機構が前記第 2 の状態にあるときは、前記ミラーは前記第 2 の位置にて停止し、前記チャージ機構はチャージ状態とチャージ解除状態との間で動作することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載のカメラ。

【請求項 6】

前記第 1 の回転部材は、第 1 の駆動部材を介して前記ミラー機構を駆動し、前記第 2 の回転部材は、第 2 の駆動部材を介して前記シャッタ機構を駆動し、

前記第 1 の駆動部材は前記ミラー機構と前記シャッタ機構とに駆動力を伝達することが可能であり、かつ前記第 2 の駆動部材は前記第 1 の回転部材と前記第 2 の回転部材からの駆動力を前記チャージ機構に伝達することが可能であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 つに記載のカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

10 は第 1 の回転部材としての第 1 カムギヤである。11 は第 1 カムギヤ 10 の回転位相を検出する第 1 回転検出器である。13 は第 2 の回転部材としての第 2 カムギヤである。

14 は第 2 カムギヤ 13 の回転位相を検出する第 2 回転検出器である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

16 はミラー機構を構成するミラー駆動レバーであり、12 は第 1 カムギヤ 10 の第 1 カム 10 a によって駆動され、ミラー駆動レバー 16 を駆動する第 1 カムレバー（第 1 の駆動部材）である。第 1 カムレバー 12 は、ミラー駆動レバー 16 とともに後述のシャッタレバー 17 を駆動することもできる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

17 はシャッタチャージ機構を構成するシャッタレバーであり、15 は第 2 カムギヤ 13 の第 2 カム 13 a によって駆動され、シャッタレバー 17 を駆動する第 2 カムレバー（第

１の駆動部材）である。第２カムレバー１５は、第２カムギヤ１３の第２カム１３aによって駆動されるとともに、第１カムギヤ１０の第１カム１０aによっても駆動される。